

## 令和2年度 アオコ情報 No. 7

7月14日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度<sup>※1</sup>は、北浦の釜谷沖でアオコレベル1相当<sup>※2</sup>でした。そのほかの地点は、アオコレベル0相当でした。
- 植物プランクトンの増殖に必要な栄養塩のうち、窒素は西浦の掛馬沖以外の地点で、りんは北浦の安塚沖以外の地点で、植物プランクトンの増殖に適した状況でした。
- 気象庁によると、来週は曇りと雨の日が混在しますが、最高気温は25℃以上の日が多いことから、植物プランクトンの増殖が可能な環境です。湖内のフィコシアニン濃度が低いことから、今後1週間以内での急激な大発生は起こらない見込みです。

### 1 湖内のアオコレベル

- 釜谷沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：97 µg/L）でした。
- そのほかの調査地点では、アオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：8～45 µg/L）でした。

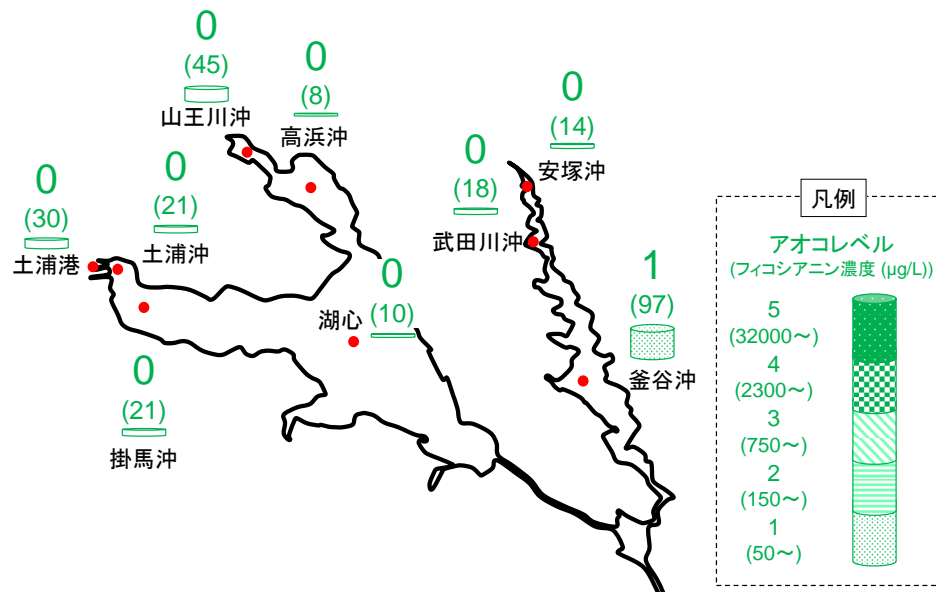


図1 フィコシアニン濃度の分布

#### ※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

#### ※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

## 2 アオコ発生に影響する項目の湖内状況

- 調査時の水温は 22.9℃～25.9℃でした。
- 栄養塩のうち、無機窒素濃度は西浦の掛馬沖を除く地点で 0.1 mg/L 以上でした。りん酸態りん濃度は北浦の安塚沖を除く地点で 0.01 mg/L 以上でした。
- 気象庁（7月16日11時発表）によると、来週は曇りと雨の日が混在しますが、最高気温は 25℃ 以上の日が多いことから、植物プランクトンの増殖が可能な環境です。

表1 アオコ発生に寄与する水質条件等の状況

		西 浦					北 浦			
		土浦港	土浦沖	掛馬沖	湖心	山王川沖	高浜沖	安塚沖	武田川沖	釜谷沖
水 温		A	B	A	B	B	A	B	B	A
栄 養 塩	無機窒素濃度	A	A	B	A	A	A	A	A	A
	りん酸態りん濃度	A	A	A	A	A	A	B	A	A
予 報	日照時間	C								
	気 温	A								

A: 発生に適した条件, B: 発生が可能な条件, C: 発生に適していない条件  
(各項目の判定基準及び結果詳細は、別紙を参照)

## 3 過去の同時期におけるフィコシアニン濃度との比較

- 過去にアオコの発生が著しかった土浦港と武田川沖について、本年度と過去2年間のフィコシアニン濃度を比較すると、土浦港では過去2年間よりも高く、武田川沖では低い値でした。

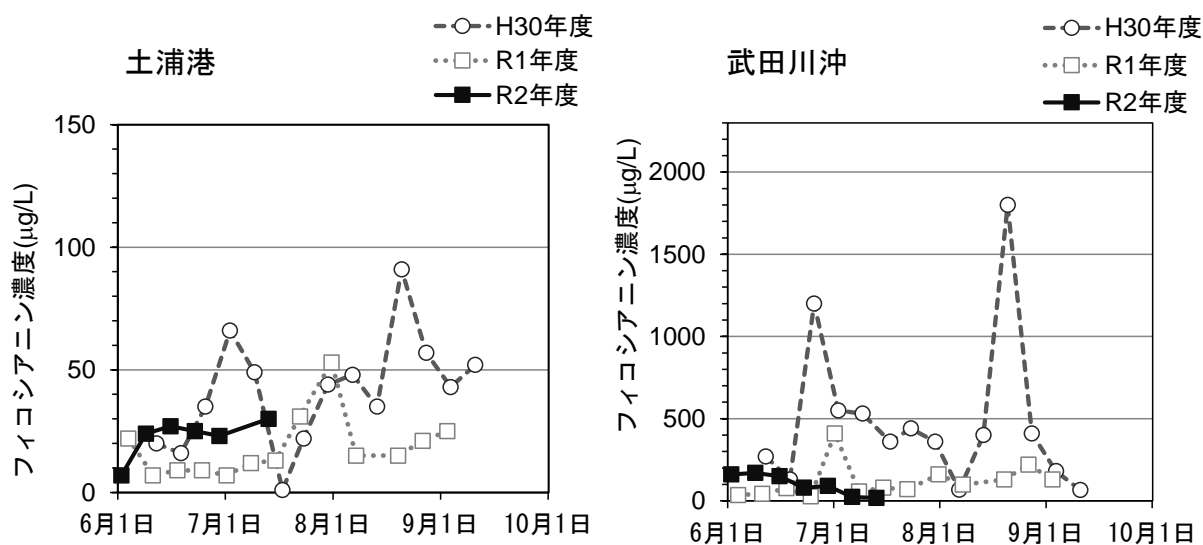


図2 過去2年間および本年度のフィコシアニン濃度の推移  
(左：土浦港，右：武田川沖)

(別紙)

● 各項目の判定基準

【水温】

アオコの原因となる植物プランクトン（ミクロキスティス）の増殖倍率がおおよそ 20℃以上から高まり、25℃以上で約 10 倍に達する（佐々木，1975）ことから、「25℃以上」をA、「20℃以上」をB、「20℃未満」をCとした。

【栄養塩濃度（溶存無機窒素）】

植物プランクトンの栄養源となる溶存無機窒素（DIN）について、藍藻類の増殖に関する目安が 0.1 mg/L といわれている（Oliver ら，2000）ことから、溶存無機窒素濃度が「0.1 mg/L 以上」をA、「0.1 mg/L 未満」をBとした。なお、本項目の基準については、Cに該当する知見が不十分なため、A、B の二区分とした。

【栄養塩濃度（りん酸態りん）】

植物プランクトンの栄養源となるりん酸態りん（ $PO_4\text{-P}$ ）について、藍藻類の増殖に関する目安が 0.01mg/L といわれている（Oliver ら，2000）ことから、りん酸態りん濃度が「0.01mg/L 以上」をA、「0.01mg/L 未満」をBとした。なお、本項目の基準については、Cに該当する知見が不十分なため、A、B の二区分とした。

【日照時間】

気象庁の天気予報（茨城県）において、1週間「晴れが続く」場合をA、「晴れと曇りが混在している」場合をB、「曇りや雨が続く」場合をCとした。

【最高気温】

過去の最高気温と水温の関係は、水温が 25℃、20℃になったときの一週間の最高気温の平均がそれぞれ 25℃、18℃だったので、一週間の最高気温の平均値が「25℃以上」をA、「18℃以上」をB、「18℃未満」をCとした。

【アオコレベル】

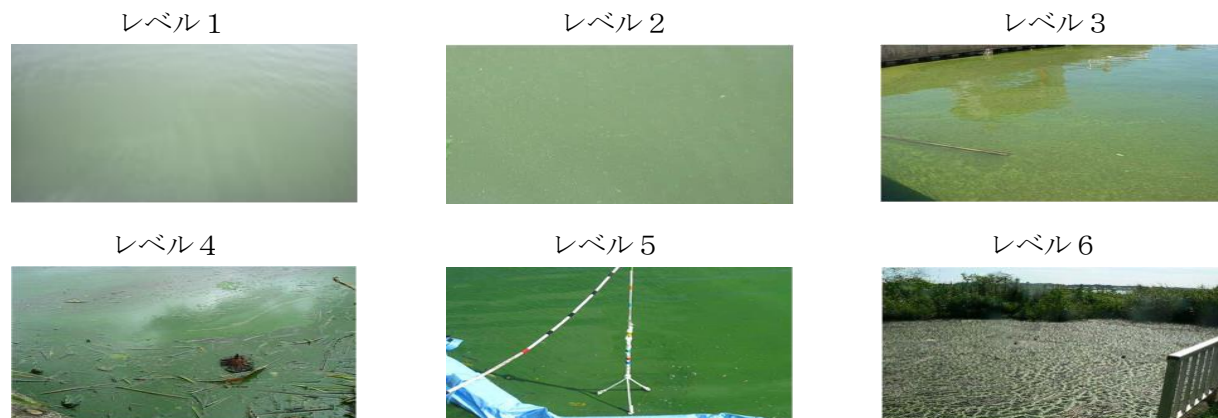


図3 アオコレベル

● 調査結果の詳細

表2 調査結果

	西 浦						北 浦		
	土浦港	土浦沖	掛馬沖	湖 心	山王川沖	高浜沖	安塚沖	武田川沖	釜谷沖
採水時刻	7月14日 13:15	7月14日 12:15	7月14日 11:50	7月14日 10:05	7月14日 10:55	7月14日 10:35	7月14日 8:10	7月14日 8:25	7月14日 8:50
水温(°C)	25.9	24.6	25.4	24.6	24.0	25.4	22.9	24.6	25.4
フィコシアニン(μg/L)	30	21	21	10	45	8	14	18	97
クロロフィルa(μg/L)	78	56	69	49	49	31	43	57	58
TN(mg/L)	1.54	1.13	0.51	0.58	1.72	1.19	4.50	2.56	0.84
TP(mg/L)	0.08	0.06	0.07	0.08	0.08	0.11	0.05	0.06	0.11
DIN(mg/L)	1.07	0.86	0.05	0.11	1.41	0.75	4.39	2.42	0.31
NO <sub>3</sub> -N(mg/L)	0.95	0.83	0.03	0.08	1.36	0.70	4.30	2.28	0.15
NO <sub>2</sub> -N(mg/L)	0.03	0.01	< 0.02	< 0.02	0.03	< 0.02	0.04	0.05	0.13
NH <sub>4</sub> -N(mg/L)	0.08	< 0.02	< 0.02	0.02	< 0.02	0.04	0.04	0.08	0.02
PO <sub>4</sub> -P(mg/L)	0.01	0.01	0.01	0.03	0.01	0.03	< 0.01	0.02	0.06